

# BELLUNA

証券コード：9997

株式会社ベルーナ

## 第44期 中間株主通信

2019年4月1日～2019年9月30日



### I N T E R I M   B U S I N E S S   R E P O R T



お 客 様 の 衣 食 住 遊 を 豊 か に す る





第四次経営計画の下、  
主力4事業の着実な成長に向けて前進。  
当第2四半期は「専門通販事業」  
「プロパティ事業」などが牽引しました。

代表取締役社長 安野 清

当社グループを取り巻く市場環境

当第2四半期の国内景況は、内需に牽引される形で緩やかな回復基調が持続しており、今後も底堅い成長が続く見通しです。ただ、通信販売業界においては、電子商

取引（EC）による市場の拡大は続いているものの、天候不順や自然災害が頻発した影響に加え、カタログ通信販売では用紙代高騰の影響などもあり、厳しい状況が続いております。

当期の概況

当第2四半期の連結売上高は862.2億円（前年同期比8.9%増）となりました。一方で、用紙代の値上げや、前期に取得したさが美グループホールディングス（株）について、費用が先行する第1四半期の損益が当期より反映されている影響などで、営業利益は38.6億円（同0.4%増）となりました。経常利益は、為替相場の変動による損益が前期とは逆にマイナスとなり、32.9億円（同50.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16.7億円（同60.3%減）となりました。

財政状況に関しましては、負債は前期末に比べ54.8億円増加し1,187.4億円となりました。これは、短期借入金が増加したことなどによるものです。一方、総資産は前期末比で53.1億円増加し、2,191.0億円となりました。これは主に営業貸付金が増加したこと、建設仮勘定が増加したことなどによる

ものです。この結果、純資産合計は前期末比1.7億円減の1,003.5億円となり、自己資本比率は45.5%となりました。

第四次経営計画の進捗

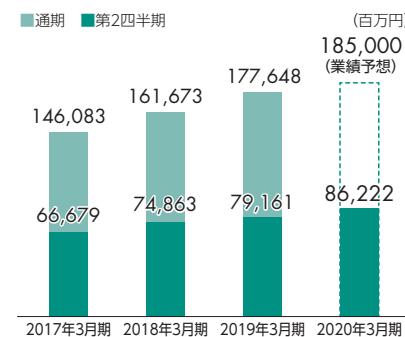
当社グループは現在、2020年3月期から2022年3月期を対象とする第四次経営計画において、「総合通販事業の安定的な成長」「専門通販事業の拡大」「店舗販売事業の拡大と収益改善」「プロパティ事業の強化」に注力し、主力4事業の拡大・強化を目指しております。

当第2四半期は、「専門通販事業」の化粧品事業、ワイン事業を中心に新規顧客の獲得と既存客の高リピートが進み好調に推移しました。売上高は226.9億円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益は15.8億円（同33.0%増）となり、成長性と収益性を牽引しております。「プロパティ事業」においても、前期に開業したホテルが売上

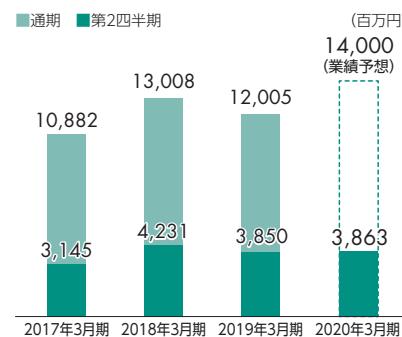
財務ハイライト

Financial Highlights

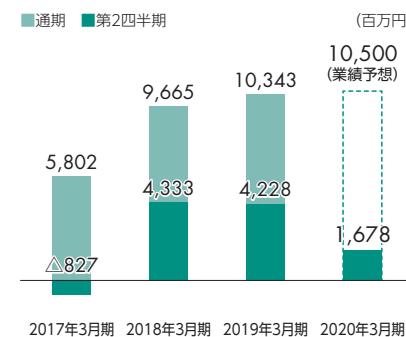
売上高



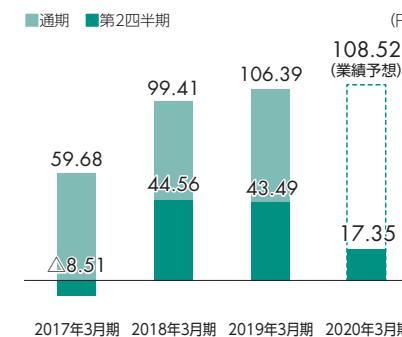
営業利益



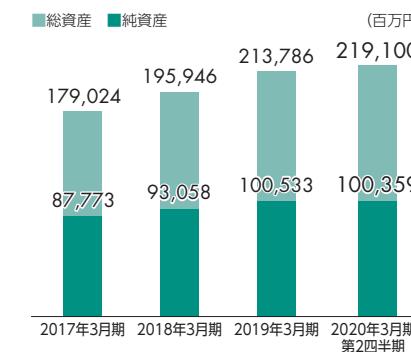
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



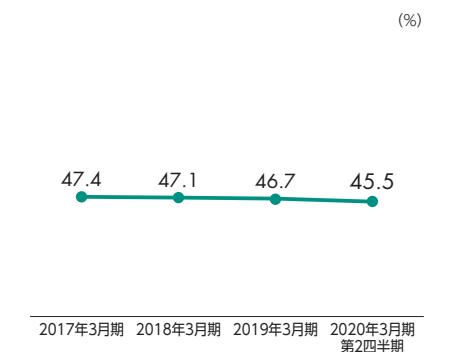
1株当たり四半期(当期)純利益



総資産・純資産



自己資本比率



に寄与したことに加え、当期は新規ホテルの開業費用がなかったため、売上高は44.5億円(同37.6%増)、セグメント利益は3.0億円(同64.2%増)となりました。また、通販代行サービス事業及び封入・同送サービス事業といったソリューション事業やファイナンス事業も好調に推移しております。

一方で、「総合通販事業」は用紙代の値上げに伴うカタログ等の発行部数抑制の影響などにより、売上高は355.3億円(同1.3%減)、セグメント利益は2.9億円(同64.4%減)と減収減益。「店舗販売事業」においては売上高が156.6億円(同30.1%増)となったものの、前

述したさが美グループホールディングス(株)の損益の反映などから、セグメント利益は3.4億円(同56.7%減)となりました。今後も引き続きこれらの事業の強化・育成に努めてまいります。

### 通期の見通し

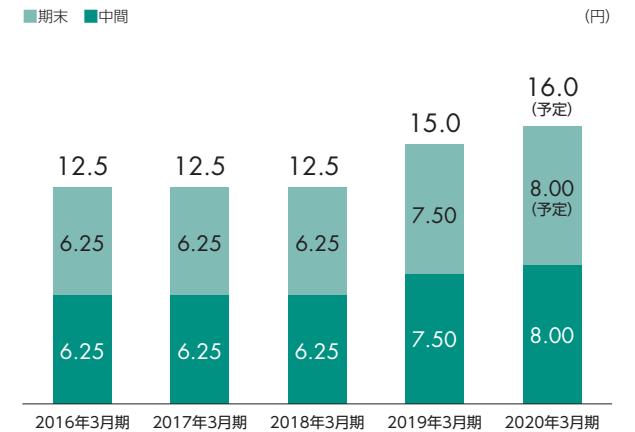
2020年3月期の通期業績については、期初予想通り売上高1,850億円、営業利益140億円、経常利益150億円、親会社株主に帰属する当期純利益105億円と見込んでおります。収益性と成長性の両立に努め、「通信販売総合商社」としてのさらなる成長を図っていきます。

### 株主還元について

当社は、企業価値の向上を通して株主の皆様の厚いご支援にお応えすることに大きな価値を置き、経営状況と中長期的な成長に向けた投資の必要性などを総合的に勘案しつつ、安定的な配当を実施していく方針を掲げております。これに基づき、当第2四半期末の配当金は1株当たり8.0円とさせていただきます。前年同期の配当実績に対し1株当たり0.5円の増配となります。

今後も新たな価値を創造し進化を続けてまいります。株主の皆様におかれましては、当社グループへの変わりぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 1株当たり配当金の推移



## 株主優待内容

### 1 優待券、優待クーポンまたは自社取扱商品から選択

- ①当社運営の通信販売で使用できる優待券 ②ペルーナネットで利用できる優待クーポン ③自社取扱の食品またはワイン



### 2 「裏磐梯レイクリゾート(旧裏磐梯猫魔ホテル)」で利用できる宿泊優待券



### 3 「ルグラン旧軽井沢」で利用できる宿泊優待券



保有株式数	1 優待券または自社取扱商品から選択	2 裏磐梯レイクリゾート優待券	3 ルグラン旧軽井沢優待券 <sup>※3</sup>
100株以上 500株未満	①1,000円分の通信販売 <sup>※1</sup> 優待券 ②1,000円分のネット専用優待クーポン ③1,000円相当の自社取扱の食品またはワイン <sup>※2</sup>	宿泊優待券1枚	宿泊優待券1枚
500株以上 1,000株未満	①3,000円分の通信販売 <sup>※1</sup> 優待券 ②3,000円分のネット専用優待クーポン ③3,000円相当の自社取扱の食品またはワイン <sup>※2</sup>	宿泊優待券2枚	宿泊優待券1枚
1,000株以上	①5,000円分の通信販売 <sup>※1</sup> 優待券 ②5,000円分のネット専用優待クーポン ③5,000円相当の自社取扱の食品またはワイン <sup>※2</sup>	宿泊優待券4枚	宿泊優待券1枚

※1 衣料品、生活雑貨、家具等を販売する総合通販でご利用いただけます。

※2 自社取扱の食品またはワインは、当社が選定した商品をお送りいたします。商品をカタログから選ぶことはできません。

※3 ルグラン旧軽井沢の宿泊優待券は、年1回(12月上旬発行分)のみの贈呈となります。

※4 株主優待のご利用方法の詳細については、贈呈時にご案内いたします。

### 発送時期・有効期限

	発送時期	有効期限
中間	12月上旬	12月1日～6月30日
期末	6月下旬	7月1日～12月31日

### 対象となる株主様

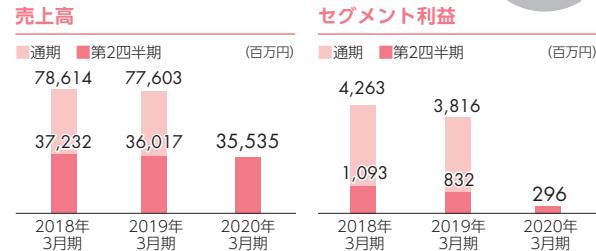
毎年3月末および9月末の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上保有の株主様

### 総合通販事業

カタログやインターネットなどを媒体とする衣料品・生活雑貨・家具等生活関連商品の販売および関連事業



用紙代の値上げに伴うカタログ等の発行部数抑制の影響などにより、売上高は355.3億円(前年同期比1.3%減)となり、セグメント利益は2.9億円(同64.4%減)となりました。



### 専門通販事業

食料品・化粧品・健康食品の販売など、特定のお客様を対象として専門的に商品を販売している事業



化粧品事業、ワイン事業を中心に好調に推移し、売上高は226.9億円(同5.5%増)となり、セグメント利益は15.8億円(同33.0%増)となりました。

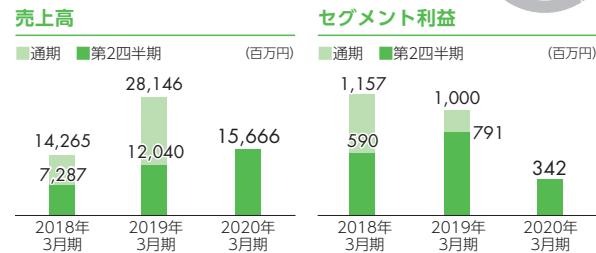


### 店舗販売事業

衣料品・和装関連商品等の店舗販売事業



前期に取得したさが美グループホールディングス(株)について、費用が先行する第1四半期の損益が当期より反映される影響などで、売上高は156.6億円(同30.1%増)となったものの、セグメント利益は3.4億円(同56.7%減)となりました。

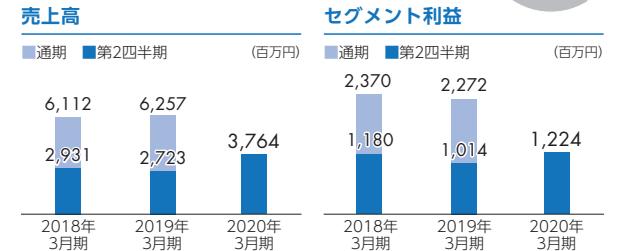


### ソリューション事業

封入・同送サービスや通販代行サービスなど、当社グループのデータベースやインフラを活用した受託事業



通販代行サービス事業及び封入・同送サービス事業が共に好調に推移し、売上高は37.6億円(同38.2%増)となり、セグメント利益は12.2億円(同20.7%増)となりました。

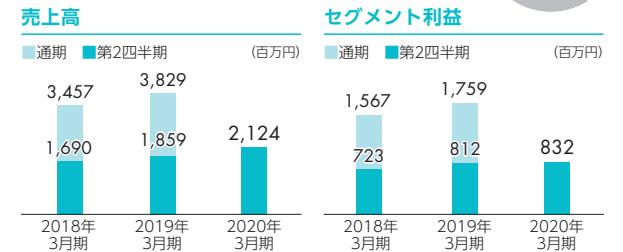


### ファイナンス事業

通信販売事業の顧客を中心に展開するBtoCファイナンス事業



国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は21.2億円(同14.3%増)となり、セグメント利益は8.3億円(同2.5%増)となりました。

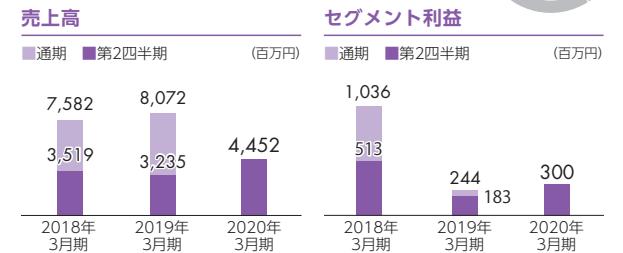


### プロパティ事業

オフィスビルなどの賃貸および再生・開発を手掛ける不動産事業、およびホテル事業



前期に開業したホテルが売上に寄与したことに加え、当期は新規ホテルの開業費用がなかったことなどにより、売上高は44.5億円(同37.6%増)となり、セグメント利益は3.0億円(同64.2%増)となりました。



「今の私」にぴったりのオシャレが楽しめるショッピングサイト

# 「RyuRyu mall」オープン！

20～30代の大人の女性向けファッションECモール「RyuRyu mall(リュリュモール)」を2019年6月17日にオープンしました。コンセプトは、「今の私」にぴったりのオシャレが楽しめるショッピングサイト」。

カジュアルスタイルからフォーマルスタイルまで、サイズ展開も幅広く豊富に取り扱っており、トレンドのスタイリングから自分にぴったりのお気に入りの一着を見つけることができます。

ブランドオープン時には、40ショップが参画を決定し、2019年度中には70ショップの出店を予定しております。



お手元のスマートフォンでスキャンして今すぐアクセス！



<https://ryurymall.jp/>



「RyuRyu mall」の特徴

- 1 商品は自社倉庫で保管・発送するため、複数ブランド商品を一緒に注文した際にも、**まとめてお届け可能**です。
- 2 **大きいサイズの取り扱いも豊富**で、自分に合ったお気に入りの一着を見つけることができます。



「大きいサイズの服」特設ページでは、下着・インナー、靴・シューズまで多彩なアイテムを幅広いサイズでご紹介しており、サイズやカテゴリごとに検索が可能となっております。



- 3 お悩み解消特集やコーディネート等、お客様に商品を組み合わせる積極的にご提案。**気に入ったコーディネートはマネキン買いをすることも可能**です。

様々なシーンに合ったコーディネートサイトを上でご提案いたします。気に入ったコーディネートは、商品を1点1点注文しなくても、まとめて注文できるマネキン買いをすることもできます。



連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2019年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2019年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	99,244	99,803
固定資産	114,542	119,297
有形固定資産	83,204	88,246
無形固定資産	11,253	11,273
投資その他の資産	20,084	19,777
<b>1 資産合計</b>	<b>213,786</b>	<b>219,100</b>
<b>負債・純資産の部</b>		
流動負債	53,463	64,506
固定負債	59,790	54,234
<b>2 負債合計</b>	<b>113,253</b>	<b>118,741</b>
株主資本	102,215	102,843
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,954	10,954
利益剰余金	80,816	81,767
自己株式	△167	△491
その他の包括利益累計額	△2,385	△3,121
非支配株主持分	703	637
純資産合計	100,533	100,359
負債純資産合計	213,786	219,100

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

POINT

**1 資産合計**

前期末に比べ5,313百万円増加しました。これは主に現金及び預金が減少した一方で、営業貸付金、商品及び製品、建設仮勘定が増加したことによるものであります。

**2 負債合計**

前期末に比べ5,487百万円増加しました。これは主に長期借入金、未払法人税等が減少した一方で、支払手形及び買掛金、短期借入金が増加したことによるものであります。

**3 売上高**

店舗販売事業はさが美グループの連結もあり増収、ホテル事業は昨年度オープンしたホテルが増収に寄与、総合通販を除く全セグメントが増収を達成し、前年同期比8.9%増となりました。

**4 営業利益**

専門通販事業は化粧品事業、ワイン事業の増収効果などにより増益、一方で総合通販は紙代の値上げや運賃単価の上昇等の影響もあり減益となり、前年同期比0.4%増となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2019年4月1日～ 2019年9月30日
<b>3 売上高</b>	79,161	86,222
売上総利益	45,011	50,195
販売費及び一般管理費	41,161	46,332
<b>4 営業利益</b>	3,850	3,863
営業外収益	2,988	501
営業外費用	220	1,069
経常利益	6,618	3,296
特別利益	33	105
特別損失	110	151
税金等調整前四半期純利益	6,541	3,250
法人税、住民税及び事業税	2,181	1,565
法人税等調整額	96	33
四半期純利益	4,263	1,651
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	35	△26
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,228	1,678

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2019年4月1日～ 2019年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,235	△258
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,472	△7,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,811	4,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△200
現金及び現金同等物の増減額	△4,417	△3,057
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,610	18,293

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

詳細な財務情報は、当社Webサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。

ベルーナ IR

インポートブランド通販サイト「Import Collection YR」を展開する「株式会社アイシーネット」を子会社化

当社は2019年9月、輸入商品の通信販売事業を展開する株式会社アイシーネットの全株式を取得し子会社化いたしました。同社は2008年11月に設立され、主にインポートブランド品の並行輸入および販売を行ってきた企業で、「COACH(コーチ)」など人気ブランド商品の高い調達力などで知られています。同社が展開するインターネット通販サイト「Import Collection YR(インポートコレクションワイアール)」では、18年にわたり運営してきた楽天市場の店舗で、ショップ・オブ・ジ・エリアや多数の月間賞を受賞。その他の主要ECサイトでも高評価を獲得してきました。

今後は積極的にノウハウ共有を行い、更なる商品買付力の向上と商品供給の安定拡大、また商品と売場の相互活用により、多くのお客様により良い商品をお届けしてまいります。



川越駅東口に初の路面店「BELLUNA 川越店」がグランドオープン「ブランド複合型」店舗で多彩なファッションをご提案

ブランド初となる複合型店舗「BELLUNA川越店」を、2019年9月に川越駅東口から伸びるクリアモール商店街の中央にオープンしました。初の複合型店舗でもあり、2階建ての施設の中に4つのブランドを展開しております。

1階はトータルファッション「BELLUNA(ベルーナ)」をフロア全面でご紹介。2階は店舗初登場となる20～30代向けのカジュアルスタイル「GeeRA(ジーラ)」、30～40代向けのきれいめカジュアルスタイル「Ranan(ラナン)」、40～60代向けのワンマイル～スポーツシーンまで使えるカジュアルアイテム「BELLUNA SPORTS(ベルーナスポーツ)」とバリエーション豊かなブランドを取り揃え、シーンにあわせたファッションを、親しみやすいプライスで幅広い世代の方に向けてご紹介しております。



■ 会社概要

会社名	株式会社ベルーナ (Belluna Co., Ltd.)		
資本金	106億12百万円		
創業	1968年9月		
設立	1977年6月		
従業員数	3,289名 (連結)		
事業内容	カタログ等による通信販売を核に、受託、金融、卸売等の分野で展開する通信販売総合商社		

■ 役員

代表取締役社長	安野 清	取締役 (監査等委員)	萩原 康雄
取締役	安野 雄一郎	社外取締役 (監査等委員)	渡部 行光
取締役	穴戸 順子	社外取締役 (監査等委員)	山縣 秀樹
取締役	下川 英士		
取締役	松田 智博		

■ 主な事業所

本社	(埼玉県上尾市)
本館	(埼玉県上尾市)
東京本部	(東京都中央区)
渋谷オフィス	(東京都渋谷区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東支店	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川越市)
春日部オーダーレセプションセンター	(埼玉県春日部市)
吉見ロジスティクスセンター	(埼玉県吉見町)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	97,244,472株
株主数 (除く自己名義)	11,704名

■ 大株主

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社フレンドステージアセットマネジメント	33,920	35.0
安野 清	9,947	10.2
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	6,543	6.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	5,084	5.2
安野 公	2,914	3.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,431	2.5
株式会社三井住友銀行	2,246	2.3
野村信託銀行株式会社 (退職給付信託三菱UFJ銀行口)	1,968	2.0
ベルーナ共栄会	1,693	1.7
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,546	1.5

※持株比率は自己株式 (587,185株) を控除して計算しています。

■ 所有者別株式分布状況

金融機関	個人投資家	事業会社	外国人
19.8%	23.0%	36.3%	18.9%

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領	期末配当金 3月31日
株主確定日	中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	3月31日
株式の売買単位	100株
電子公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する的方法により行います。
公告の方法	公告掲載 URL <a href="https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/">https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/</a>

株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
お問い合わせ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部